

春の三ツ口池 — 満水のため池と田んぼの幾何学模様が綺麗でした！

— 愛知県豊橋市 —

NTC コンサルタンツ（株） 都 築 佳 子

1. まえがき

下りの新幹線が豊橋駅を通過してまもなく、豊川の鉄橋を渡る辺りで右の方に周囲の山並みから突出したとんがり山が見えます。石巻山という石灰岩の山で、その特徴ある姿からこの地域の人たちの間で古くから信仰の対象とされてきた山のようなようです。標高は358mと低い山ですが、石灰岩地特有の植物群落があって国の天然記念物に指定されています。また、作家で脚本家の田中澄江が著した「新花の百名山」のひとつにも数えられており、中腹にある石巻山温泉や石巻神社からの登山道が整備されていて、20分ほどで登ることができます。本誌の**写真表紙**はこの山頂から写したもので、満水の三ツ口池と山に咲く桜、その下流に広がる幾何学模様の田んぼの風景が春らしいパステルカラーで彩られ綺麗でした。

2. 三ツ口池の歴史

投稿した写真が学会誌の表紙写真に選ばれたとの嬉しい知らせを受けてからのにわか勉強の知識ですが、写真に写るため池の三ツ口池は歴史が古く、江戸時代初期からこの地を治めた三河吉田藩の藩主の命によって新田開発の水源地として作られたようです。この三河吉田藩は徳川氏普代の大名が入れ替わり封入される名門で、歴代藩主は幕府の閣僚となって国政に携わるため比較的短期間で交代して自藩の政策にける時間はあまりなかったようです。そんな中で正保2(1645)年からこの地を治めた小笠原忠知公はその52年間の治世の間に新田開発や城下町の改築・整備に熱心だったようですので、古い三ツ口池はその時代に建設されたと思われます。

3. 現在の三ツ口池

現在の三ツ口池は水資源機構の豊川用水総合事業部によって管理されています。三ツ口池の湖畔に立てられた水資源機構の案内板によれば、三ツ口池は明治16(1883)年に堤高10m、貯水量6万 m^3 に改築されていたようですが、このため池を豊川用水東部幹線水路の調整池として利用するため、昭和24年から43年にかけて実施された豊川用水事業で渥美半島先端部の初立池や豊川市の駒場池とともに改修し、堤高12.5m、堤頂長280m、貯水量20万 m^3 の近代的な構造のため池

として改築したとのこと。下の写真は石巻山から見た三ツ口池の全体写真ですが、貯水池の上流端を豊川用水の東部幹線水路が通っており、宇蓮ダムに貯えられた豊川の水や佐久間ダムに貯留された天竜川の水が注がれているようです。いったん三ツ口池に貯えられた用水は0.36 m^3/s の農業用水と、0.194 m^3/s の水道用水を受益地に供給し、この地域の農業の発展と、飲み水の安定供給に役立っているとのこと。



写真-1 春の三ツ口池

4. 石巻山周辺の珍しい植物や動物

石巻山には石灰岩地を好むマルバワイシモチケやイワツクバネウツギなどという特殊な植物が生育し、周りの里山には盆踊りを踊る娘の姿に似た花を付けるオドリコソウやヤマアイ、オニユリなどの珍しい花が多いということで「新花の百名山」に選ばれたようです。三ツ口池にはムサシモやヒロハトリゲモなどの貴重種を含む多くの水草が生育するとのこと。

動物としては石巻山の固有種とされる陸貝のクビナガギセルや石灰岩地に生息するミカワマイマイなどが見られるということです。また、里山の鳥として、アオゲラやエナガ、夏鳥のオオルリやキビタキ、冬鳥のルリビタキやウソなどが飛来するようです。三ツ口池周辺ではハチクマやオオタカなどの猛禽類も見られるようです。また、ハクチョウが迷い来たことや、ワニの目撃情報などがあって大騒ぎしたこともあるよう



写真-2 三ツ口池から望む石巻山

で、貯水が水道用水でもあるためか、残念ながら現在はフェンスが張り巡らされて池への立ち入りはできないようになっています。

5. 石巻山周辺の自然歩道、登山道

石巻山から愛知、静岡県境の弓張山地周辺は「石巻山多摩県立自然公園」に指定されて自然歩道が整備されています。都会の近くにあって交通の便も良く JR



写真-3 自然豊かな稜線の山道

東海道線や天竜浜名湖鉄道の駅から 10 分から 20 分で山域に入って自然の山野草や鳥たちを観察できる風光明媚な里山です。

弓張山地の尾根を行く登山道からは、麓を流れる豊川用水の水路や豊橋の街並みが綺麗に見えます。東には浜名湖、西に三河湾、南には太平洋を望み、天候条件が良ければ富士山までが見える素晴らしい山歩きができます。また、弓張山地の西麓には葦毛湿原という湿地帯があって、珍しい湿原植物や季節の花々を楽しむことができます。



写真-4 弓張山地稜線からの眺め

6. むすび

石巻山・三ツ口池周辺には素晴らしい自然がいっぱいで、季節を問わず体力に合わせた里山歩きを楽しむことができます。長時間歩きが苦手な人は 1 時間程度、一日を山で過ごしたい人は 7、8 時間をかけて山中を歩くこともできます。近くには西国大名の姫君たちが通ったという姫街道などの名所旧跡や日帰り入浴ができる温泉などもありますから、皆さんも機会があれば訪ねてみてください。